

アンケート調査に基づく 学生支援

関西国際大学 学生担当副学長
浅野 考平

関西国際大学

- 兵庫県三木, 尼崎, 神戸に3つのキャンパス
- 学生数 2,942名 (2020年5月1日)
- 保健医療学部, 人間科学部, 経営学部, 教育学部, 国際コミュニケーション学部, 現代社会学部の6学部

調査の概要

- 対象：全学生
- 方式：記名式，学内のシステムを利用してネットを通じて調査
- 時期：5月6日（～5月14日，31日）
- 回答率：締切までに 82%，5月末まで延長 97.2%（2860名回答）

調査のきっかけ

- **緊急事態宣言**:「緊急事態措置を実施すべき期間は、本日、令和2年4月7日から5月6日までの1カ月とし、実施すべき区域は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県および福岡県の7都府県となります。」
- 4月22日付け新聞の見出し「**学生13人に1人が退学検討 バイト減6割、親の収入も…学費に不安**」
- 1紙だけではなく、各紙同様の見出しで報道された。

調査の目的

- 「学生に経済的支援を」
- 資源が少ないときに効果的に事業を行うためには必要度の高いところに、ある程度資源を集中的に用いざる得ない。
- 必要度の高いところを見つける
→ アンケート調査 → **記名式**で、**全数調査**
- 個々の学生の経済的状況を把握することが目的
- 調査時期:5月6日～

発表に関して

- 合併早々だったので、旧関西国際大学と旧神戸山手大学で別建てで実施.

まず、旧関西国際大学の学生のアンケート調査からわかること、後で旧神戸山手大学の学生のアンケート調査の結果を加えてわかったこと.

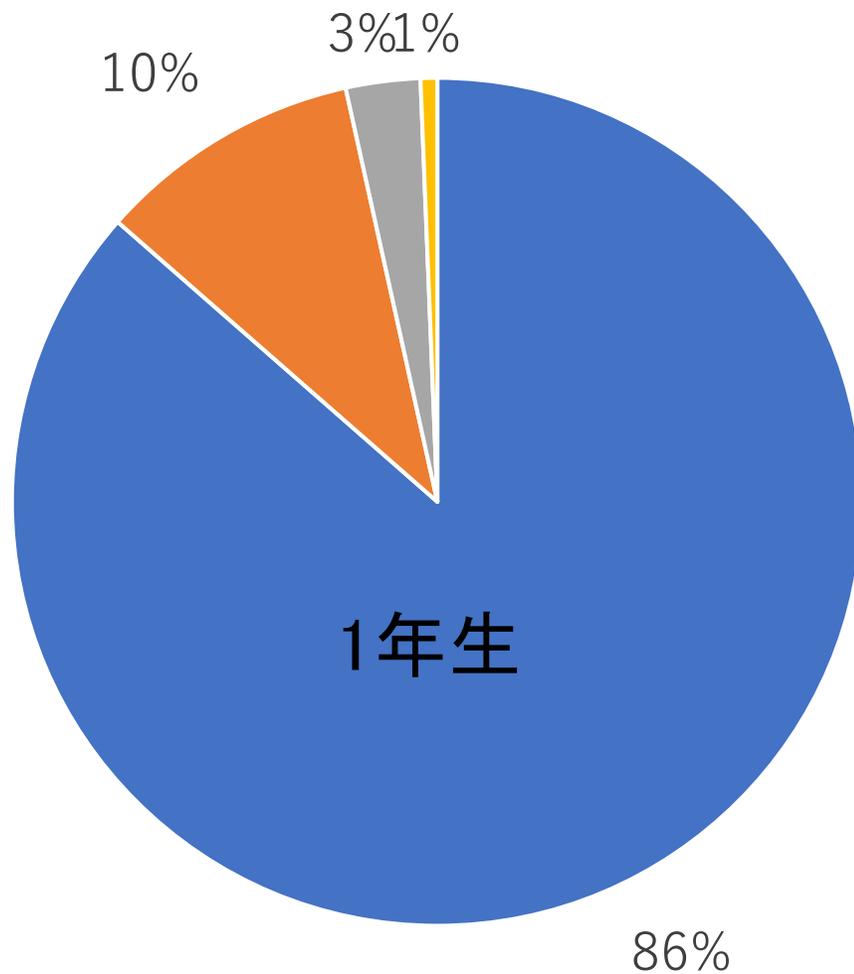
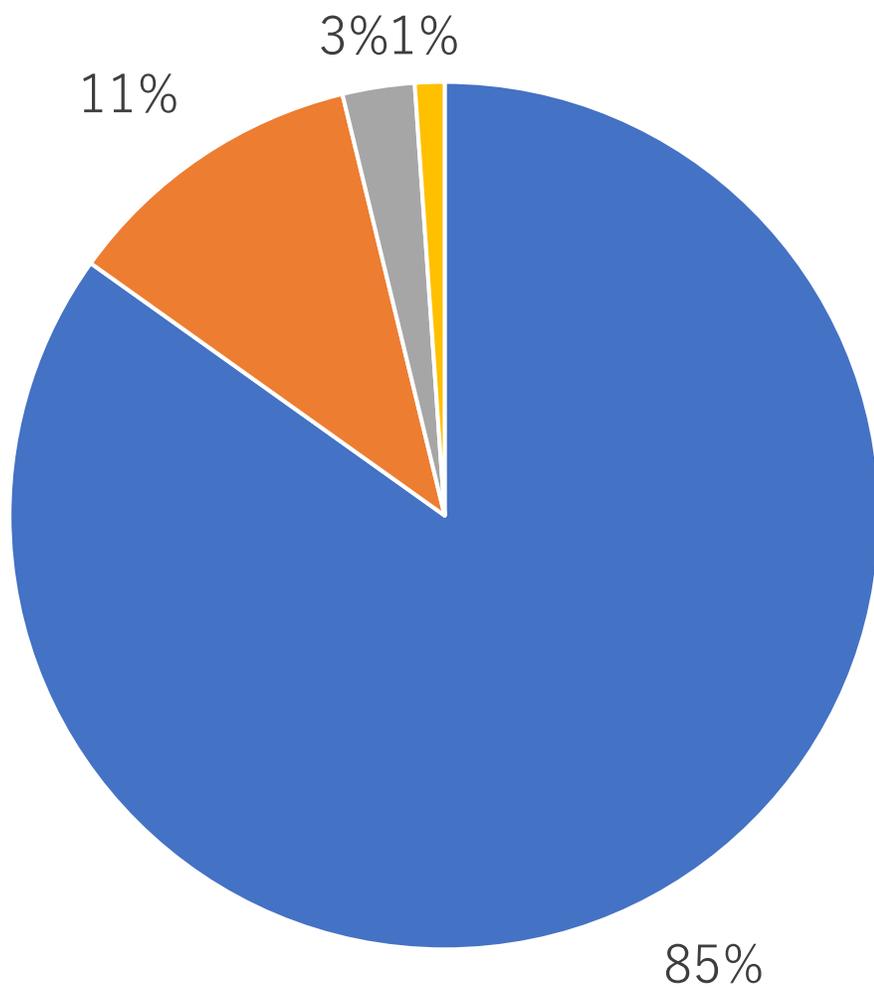
主な項目【健康面】

- 1. 現在, **健康面**について何か**支障**はありますか(1つだけ)
- 2. 1で「支障がある」と回答した人にうかがいます……
- 3. 2で「その他」と……
- 4. 現在**メンタル面**で何か**支障**はありますか(1つだけ)
- 5. 4で「支障がある」と回答した人に伺います……
- 6. 5で「その他」と……
- 7. 現在, **遠隔学習**について何か**支障**はありますか(1つだけ)

主な項目【生活面】

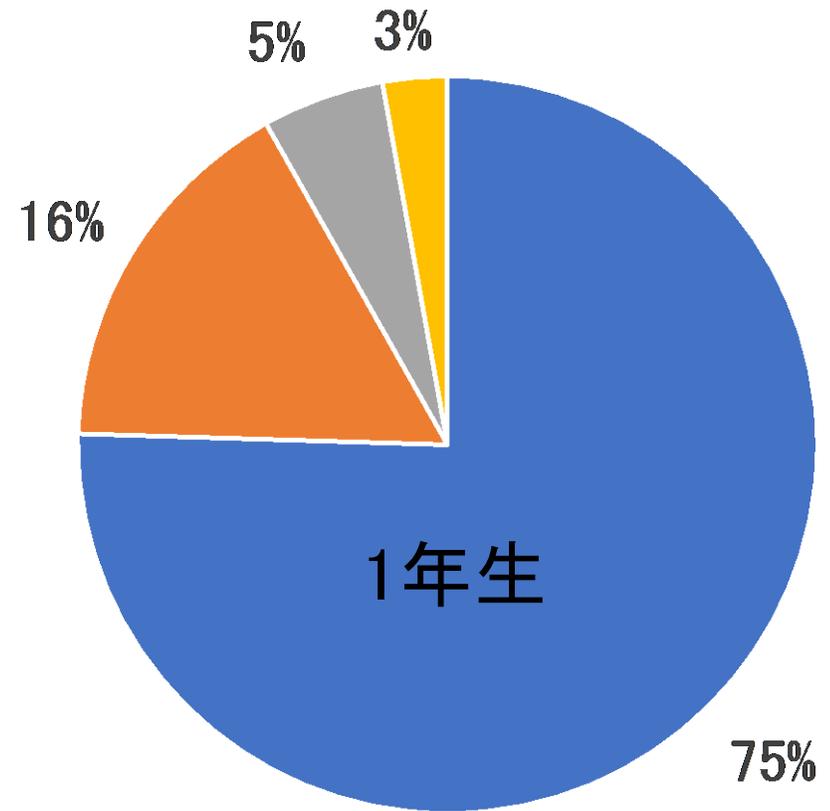
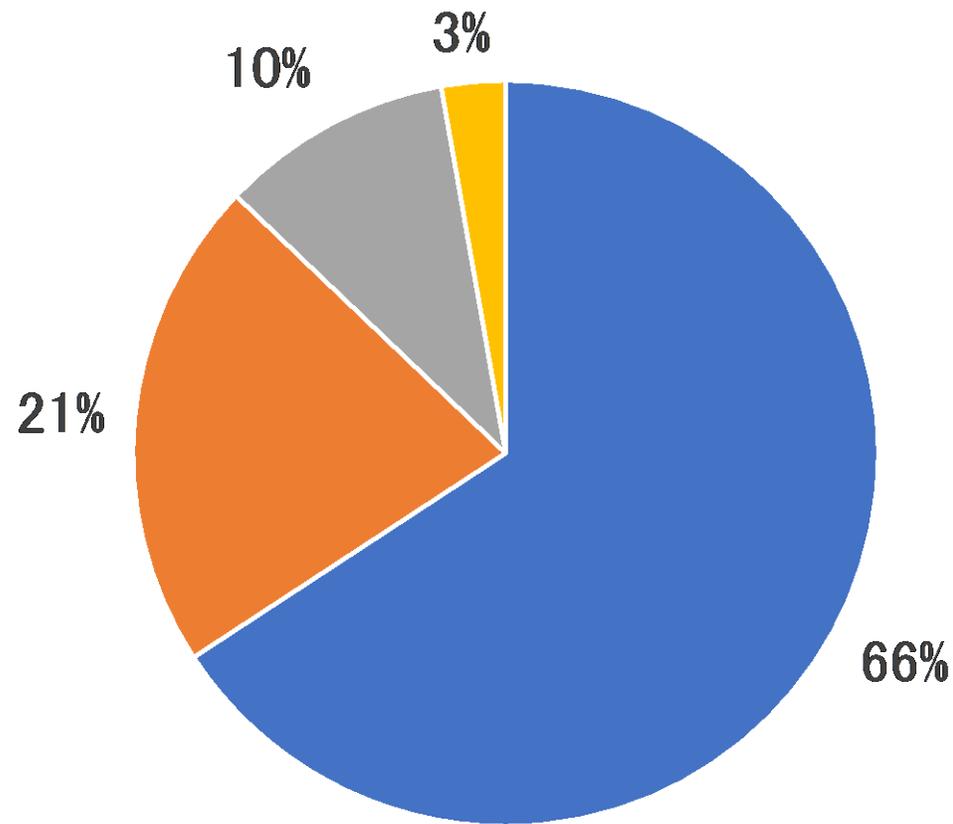
- 10. 現在、**下宿・アパート等の家賃**の支払いについて困っていますか。(1つだけ)
- 12. 現在、**アルバイトの収入**について困っていますか。(1つだけ)
- 16. 現在のアルバイトはどのような**種類**ですか。(1つだけ)
- 18. 現在のアルバイトの**状況**はいかがですか。(1つだけ)
- 19. 現在、あなた自身の**生活費**について、支障がありますか。

1. 健康面について何か支障はありますか。(1つだけ)



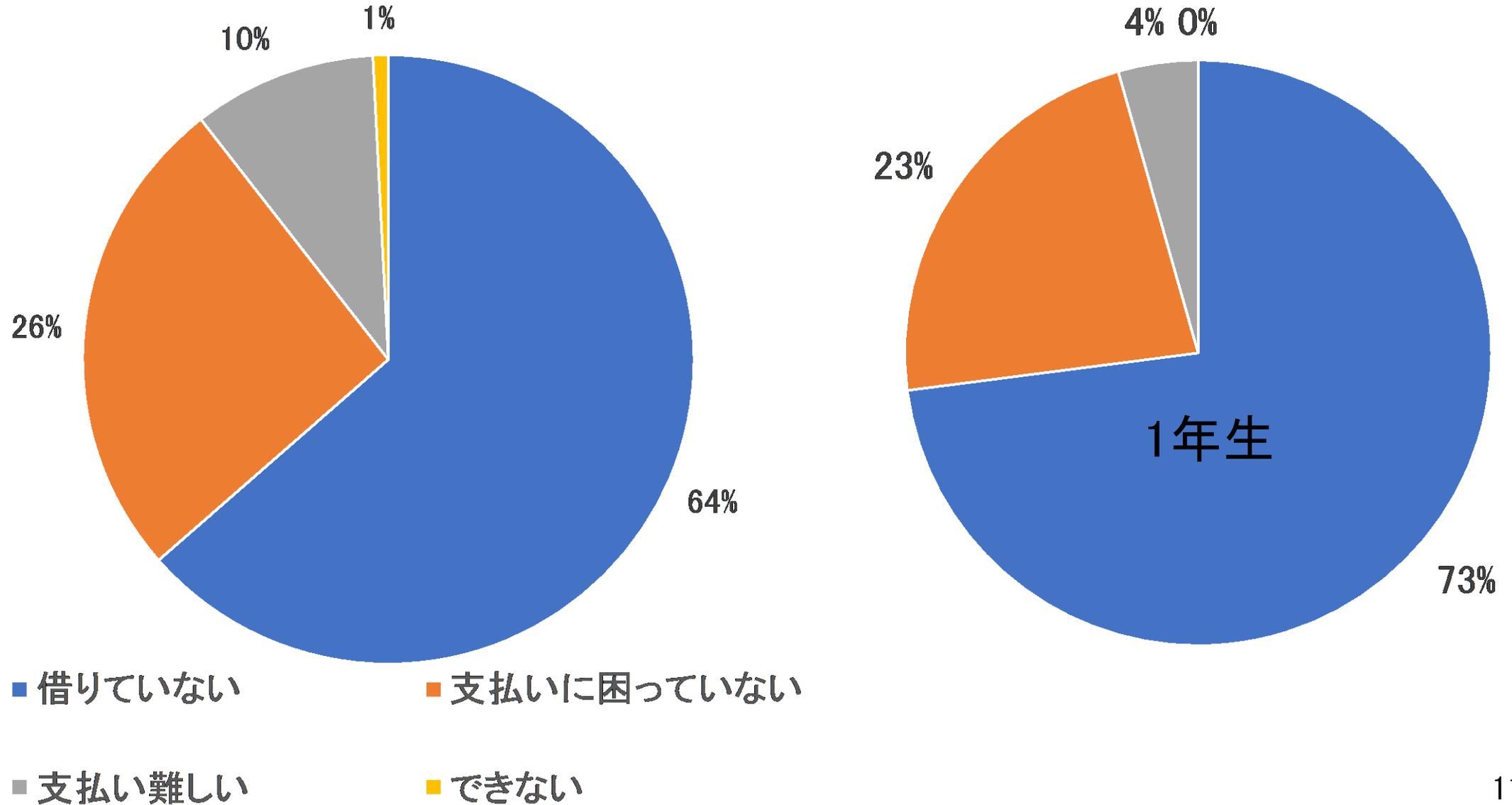
■ 支障はない ■ ほとんど ■ すこし ■ 支障がある

4. メンタル面について何か支障はありますか。(1つだけ)



■ 支障はない ■ ほとんど ■ すこし ■ 支障がある

10. 下宿・アパート等の家賃の支払いについて困っていますか。



1年生と全体の比較・1

- 1. 健康面: 全体と1年生の差はない
- 4. メンタル面: 1年生の方が支障がないとするものがやや多い.
- 10. 下宿アパート, 1年生の方が支障がない
- 11. アルバイト収入: 1年生の方が支障がない
- 16. アルバイトの種類: 飲食店は1年生はやや少ない

1年生と全体の比較・2

- 18. アルバイトの状況: アルバイトをしていない学生は1年生の方がやや多い
- 「最近やめさせられた」とする学生は, 全体で3%, 1年生で2%
- 19. 生活費について: 「支障がある」とする学生が全体16%, 1年生6%

キャンパス間（旧関西国際，山手）の比較

- 16.現在のアルバイトはどのような種類ですか。

「飲食業」:旧関西国際46%, 旧山手57%

所在地:旧山手:神戸市の繁華街三ノ宮の近く

- 18.現在のアルバイトの状況はいかがですか。

「最近アルバイトをやめさせられた」:旧関西国際大学3%, 旧山手大学11%

- 19.現在、あなた自身の生活費について、支障がありますか。

「支障がある」:旧関西国際大学16%, 旧山手大学21%

キャンパス間の差異の原因

- 留学生の比率：旧関西国際 5% 旧山手 34%

旧山手大学：

留学生「最近アルバイトをやめさせられた」28% 留学生を除くと 3%

- 「生活費に支障がある」

留学生：37% 留学生を除くと13%

留学生，飲食業，解雇，生活費の不足

全数，記名式調査の活用

- 「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』の受給
- 余裕のない学生ほど，見逃す（気づかない）可能性がある。
 - ⇒ アンケートなどをもとに申請を促す。
- 「学生の申請漏れ」を最小化する。受給率29%（全国平均14～15%？）